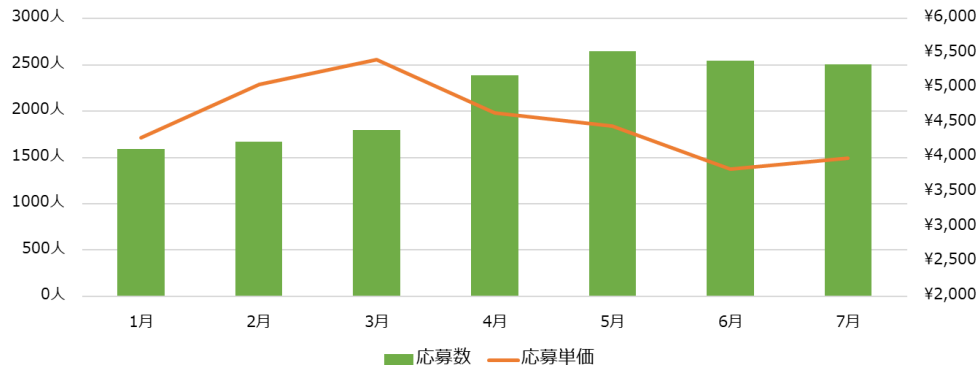


### 4～7月までのアルバイト市場動向と今後の予想(飲食店)

2023年 飲食店の平均応募数・応募単価



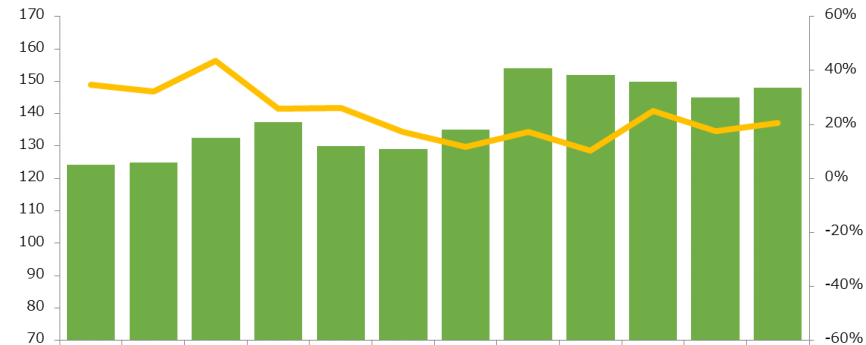
上のグラフはノーザンライツが独自で集計した大手飲食チェーン店における応募数と応募単価の推移を表しています。  
応募数は4月から増加し、5月には同年1月比で166%増加となりました。  
応募単価は3月をピークに、ほぼ右肩下がり推移しています。  
4月～7月は、少ない費用でも応募数を獲得できていたと考えられます。

#### ◇9月の動向

例年9月～11月にかけて求人案件数は増加傾向となります。  
飲食・販売サービス業界を代表に各企業冬季商戦に向けて、採用活動に力を入れる始める時期が9月です。  
また、夏休みが終わった学生やその子供を持つ主婦層などが、新たに仕事を探し出す時期でもあります。

昨年2022年の求人案件数で見ると、8月124万2,000件に対し、9月は124万9,700件と若干掲載数を伸ばし、10月は132万4,600件、11月は137万4,000件と月を追うごとに求人案件数が増加しました。  
10月以降はさらに求人数が伸び応募の競争が激化することが予想される為、9月からの早めの掲載がカギとなります。  
また、同時に複数の求人に応募するケースも増える傾向にあるため、よりスピーディーな応募者対応が重要です。

求人広告掲載件数



出典：<https://www.zenkyukyo.or.jp/outline/research/>

#### ◇属性ごとの動き



学生

長期休暇中と比べ中長期的なバイトを探す傾向が強いですが、近年ではスポットワークで働く人も増えています。



主婦(夫)

家庭との両立のため、勤務地の近さやシフトの融通を注視。扶養内で働きたい女性労働者が6割以上というデータも。

#### ◇対策

費用対効果を高めるための対策として、下記の項目が挙げられます。

- ①求人原稿の出稿タイミングの最適化
- ②掲載メディア選定の最適化
- ③原稿内容の最適化

(メリット文言記載や求職者の応募意欲促進文言の記載など)

さらに、掲載終了後に応募数や求人の閲覧数、歩留まりなどを分析し、原因を深掘りし改善しつつ、次の求人に活かすことが重要となります。

他にも求人トレンド・改善事例などを随時アップしております！  
右記QRコードよりご確認くださいませので、是非ご覧ください。

